

下関商業高等学校 Q & A

Q1 商業高校（本校）の特長は？

A (1) 普通教科・科目の他に、実社会の商業（ビジネス）に関する専門知識・技術を習得します。

(2) 商業（ビジネス）に関する様々な資格を取得できます。

〔※全商（全国商業高等学校協会主催）や日商（日本商工会議所主催）などに挑戦〕

(3) 社会に出て必要となるマナーや知識・技術を身につけることができます。

<<本校の主な特長>>

(4) 我が国屈指の歴史を誇る商業高校

創立137周年（令和3年）「明治17年10月18日」学校創立

校章は、全国のすべての学校の中で、「3番目」に古く制定されたもの

(5) 校訓代替のユニークなクラス名 仁・義・礼・智・信（全日制）

(6) 恵まれた学習環境 ①最新の情報処理教室が3教室。

②公立高校では全国屈指の図書館。※蔵書数約72,000冊

(7) 活発な部活動 数多くの生徒が部活動に加入して、各種大会で好成績を挙げています。

Q2 校風・校則は？

A 校歌に「わが善良の校風に養われたるわが友よ」とあるように、学業と部活動の両立をはかり、生徒が自発的で民主的な諸活動を行えるように指導・援助しています。ただし、社会で活躍できる立派な社会人の育成を目指していますから、日頃の基本的な習慣やビジネスマナーをしっかりと身につけられるよう、行き届いた指導もしています。入学時には、本校生活の手引き書（ガイダンスブック）を配布して、詳しい説明を行います。

Q3 同窓生にはどんな方が？

A 歴史のある学校なので、**29,993**人（令和3年4月1日現在）の卒業生がおられます。（四つ珠ソロバンの発案者、プロ野球界初の完全試合投手、元プロ野球審判長などもOB）地元はもとより日本全国や海外でも活躍されておられます。経済・金融・政治・教育・芸術・観光・スポーツなど実に多くの分野（公認会計士・税理士・会社経営・教育者・芸術家など）で活躍されておられます。

Q4 普通高校と比較して、商業高校の学習の割合は？

A 全科目の中で、およそ「普通教科 2：専門教科（商業科目）1」の割合で学習します。

Q5 商業科目にはどのようなものが？

A 大きく4つの分野（商業科・情報処理科での学習）があります。

基礎科目	ビジネス基礎	発展科目	流通ビジネス分野	マーケティング、広告と販売促進、経済活動と法など	総合科目	総合実践 課題研究
			国際ビジネス分野	ビジネス経済など		
			会計ビジネス分野	簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算		
			情報ビジネス分野	情報処理、ビジネス情報、電子商取引プログラミングなど		

Q6 商業科と情報処理科とは？

A 商業科〔4クラス〕…商業（ビジネス）に関する総合的な知識と技術を学びます。

2～3年次では、「総合選択制（多くの選択科目を設けて個々の興味・関心に応じて学習を深める）」での学習となります。情報処理科〔1クラス〕…高度情報化社会に対応するために商業と情報に関する知識・技術を学びます。中でもプログラミングに関する知識を重点的に学習します。

Q7 入学するには？

A 入学選抜試験に挑戦してください。

〔全日制：定員＝商業科130名、情報処理科30名〕

全日制 (1) 推薦入試…推薦条件（適正・興味・関心・目的意識）を満たす生徒。

商業科（定員の40%以内）

情報処理科〔定員の40%以内〕が募集枠〔2月上旬〕

(2) 一般入試…山口県公立高等学校選抜（学力検査）入試〔3月上旬〕

Q8 資格検定試験にはどんなものが？〔資格は強い味方です〕

A 全国商業高等学校協会や日本商工会議所の主催する各種検定や漢字検定、ITパスポート試験、秘書検定などです。

全商（全国商業高等学校協会）主催検定		開催	目標級
珠算・電卓	…電卓や珠算を使用して実務計算能力を判定	年2回	1～3級
簿記	…簿記・会計・原価計算の実務的な処理能力を判定	年2回	1～3級
ビジネス文書	…ワープロによる実務的な文書作成・処理能力を判定	年2回	1～3級
情報処理	…コンピュータによる実務的な情報処理能力を判定	年2回	1～3級
商業経済	…商業経済（ビジネス基礎・マーケティング・経済活動と法など）での知識の理解度を判定	年1回	1～3級
英語	…総合的な英語力（聞く・読む・書くなど）を判定	年2回	1～3級
ビジネスコミュニケーション	…サービス業における接客マナーや社会人として必要なコミュニケーション能力を判定	年1回	-
日商（日本商工会議所）主催検定			
簿記	…簿記・会計・原価計算の実務的な処理能力を判定	年3回	2～3級
販売士	…小売商で販売に関する知識。技術力を判定	年2回	3級
その他			
漢字検定、ITパスポート試験（国家試験）、秘書検定			

Q9 学校行事にはどんなものが？

A 全校生徒による下商ハイクや、下商祭（文化祭）、ホームマッチなどの他、姉妹校との交流・交歓会があります。主な学校行事（予定）は次のとおりです。

4月…入学式、対面式、オリエンテーション（1年）、

5月…スポーツテスト、下商ハイク、PTA総会

7月…ホームマッチ、野球応援、チャレンジショップ投資家説明会、個人面談

8月…体験入学（中学生対象）、インターンシップ

10月…学校創立記念

11月…下商祭、姉妹校との交流・交歓会

12月…ホームマッチ、チャレンジショップ販売実習、修学旅行

3月…卒業式、ホームマッチ

Q10 購買部（売店）がありますか？

A 昼食時には新講堂でパンの販売もあります。自動販売機も4台設置されています。

購買部は新講堂内にあり、文房具用品、問題集等の購入ができます。

商業高校 Q&A（全商協会ホームページより）

Q 1 商業高校はほかの高校と、どのように違うのですか。

A 1 商業高校では普通高校では勉強しない商業科目（詳しくはQ2で説明しています）を全体の1/3程度勉強します。その結果、

- ① 商業に関する専門知識・技術が習得できます。
- ② 社会で必要となるマナーやビジネスの知識を身に付けることができます。
- ③ ビジネスに関するさまざまな検定試験に合格することができます。

また、近年では社会のサービス化・情報化・国際化などの進展に伴い、従来の商業科のほかにより専門性を深める小学科を設ける学校もあります。流通ビジネス科・会計科・国際ビジネス科・情報処理科など全国で30種余りの小学科があります。さらに、普通高校・総合学科高等学校等においても商業科目を選択科目として設置し、商業科目の学習ができるというケースもあります。

Q 2 商業科目とはどのようなものですか。

A 2 商業に関する科目は20科目あります。この20科目はその特徴によって、次のように分類することができます。

- ① 商業の基礎となる科目・・・・・・・・・・1科目
- ② マーケティング分野に属する科目・・・・・・・・3科目
- ③ ビジネス経済分野に属する科目・・・・・・・・3科目
- ④ 会計分野に属する科目・・・・・・・・・・5科目
- ⑤ ビジネス情報分野に属する科目・・・・・・・・5科目
- ⑥ 学習のまとめとしての総合的な科目・・・・3科目

①商業の基礎となる科目「ビジネス基礎」という科目で1年次に全員が学習します。3年間で学習する商業科目の全体を紹介しながら、その基礎的な内容を学習します。②マーケティング分野に属する科目消費者が商品を買うまでの行動や意識などを調べて、新しい商品を開発したり、値段を決めたりする仕組みなどが学べます。自分たちで商品やパッケージデザインを考えて、実際に販売している学校もあります。

「マーケティング」・「商品開発」・「広告と販売促進」③ビジネス経済分野に属する科目社会生活に欠かせない経済のしくみを詳しく勉強します。『景気』や『経済成長』、『国際経済』や『金融政策』などニュースに出てくる言葉がたくさん学べます。また、自分で会社をつくる『起業』についても勉強できます。

「ビジネス経済」・「ビジネス経済応用」・「経済活動と法」④会計分野に属する科目会社が取引をする際の商品やお金の流れから、その会社の価値や利益などがわかる資料を作成する仕組みが学べます。製品1個がいくらで出来ているか計算する『原価計算』や経営方針の決定に役立つ『管理会計』を勉強できます。

「簿記」・「財務会計Ⅰ」・「財務会計Ⅱ」・「原価計算」・「管理会計」⑤ビジネス情報分野に属する科目会社で使われているワードや表計算、プレゼンソフトの使い方はあたりまえ、『ネットワーク技術』や『情報セキュリティ』など、コンピュータの知識を基礎から学べます。プログラミング言語も勉強することができます。

「情報処理」・「ビジネス情報」・「電子商取引」・「プログラミング」・「ビジネス情報管理」⑥学習のまとめとしての総合的な科目商業に関する各科目で学んだ知識や技術を活かして次の科目を学習します。

「総合実践」では、教室内に会社や銀行を設けて、企業活動を模擬的に学習します。「課題研究」では、自主的に課題を設けて、創造的活動を通じて専門性を深めます。「ビジネス実務」では、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を身につけることができます。

また、このほかにもその地域・学校の特性を活かした学校設定科目を設置し、特徴的な学習をしている高校も数多くあります。

Q 3 商業科目の全部を学習するのですか。

A 3 基本的に「ビジネス基礎」は全員の生徒が1年次に学習します。また、「簿記」・「情報処理」など各分野の基礎となる科目も1年次に学習します。こうして1年次に基礎的科目を学習し、2年次になるときに自己の得意とする分野、あるいは自分の勉強したい分野を見定め、どの分野の学習を進めるかを各自が選択し、卒業までに4～6科目程度学習します。

Q 4 検定試験にはどのようなものがありますか。

A 4 全商協会が毎年実施している検定試験には次のものがあります。検定試験はそれぞれの教科・科目の目標を達成することを目指して、商業高校の生徒の技術や専門知識の向上を図るために実施されています。生徒の学習状況に応じて級が設定されていますが、ふつう1年生で3～2級、2・3年生で2～1級合格が可能です。

珠算・電卓

簿記

ビジネス文書

英語

情報処理

商業経済

会計実務

Q 5 商業高校卒業後の進路状況はどのようになっていますか。

A 5 全国の商業高校生の進路に関する概況を見ると、ここ数年の状況では約55%の生徒が進学、約45%の生徒が就職をしています。

特に近年では、進学する生徒が増加しており、これは商業高校で取得した資格を活かし、推薦入試、あるいはAO入試による進学者が増えてきているからだと思われます。

また、商学系の大学に進学した場合には、基礎的な科目は高校時に学習をしているので、進学してからの学習活動にも大いにプラスになっています。なお、全商協会の特別推薦の制度も現在約20の大学との提携をしており、毎年多くの商業高校生がこの推薦制度を利用して進学しています。

就職に関しましては、昨今の経済状況の悪化により雇用情勢も厳しいものがある中、商業高校生は身に付けた資格・特技を活かし、現場での即戦力として企業からも大いに期待されています。

特に、地元企業との密接な連携の元、毎年安定した求人をいただき、普通高校には

ない就職先を確保している状況です。

Q 6 商業高校にはどのような部活動がありますか。

A 6 学校により多少の違いはありますが、運動系・文化系ともに普通高校と同じような部活動が盛んに行われています。

運動系の部活動では全国大会で優勝するなどの活躍をしている学校も数多くあります。

また、商業高校には普通高校にはない独自の部活動もあります。簿記部・珠算電卓同好会・ワープロ部・商業研究部などで、これらの部活動は全商協会が主催する全国競技大会を目標に日々活動しています。

この全国大会は、

全国高等学校珠算・電卓競技大会

全国高等学校ワープロ競技大会

全国高等学校簿記コンクール

全国商業高等学校英語スピーチコンテスト

全国高等学校情報処理競技大会

全国高等学校プログラミングコンテスト

といった各種大会であり、年に一度、種目ごとに各都道府県からの代表校が集まり、それぞれの知識・技術を競い、切磋琢磨しています。

Q 7 全商協会が主催する大会には上記の大会のほかに「研究発表大会」というものがあると聞いたのですが、どのような大会ですか。

A 7 「生徒商業研究発表大会」という大会を主催しています。

この大会は各学校が独自で商業に関する研究テーマを設定し、その研究の成果を発表する大会です。

「課題研究」という授業で取り組んだり、「商業研究部」という部活動で取り組んだり、その参加形態はさまざまですが、年々参加校数も増加しており、全商協会が主催する大会の中で最も大きなものとなっています。

この大会で近年特に話題になっているのが、全国の商業高校が独自で開発した、地域の特性を盛り込んだオリジナル商品です。

現在では全国で数百に上るオリジナル商品が開発されており、それぞれの商品がその地域で好評を博し、中には全国的に販売されている商品もあります。